

平成20年7月25日

「留学生30万人計画」を実現し、優れた留学生を獲得するための緊急アピール

社団法人国立大学協会
公立大学協会
日本私立大学団体連合会

留学生受入れの推進は、グローバル化する知識基盤社会、学習社会の中で、我が国と諸外国との間の密接な人的ネットワークの形成、相互理解の推進や友好関係の深化、また、我が国の大学の国際的な通用性・共通性の確保と国際競争力の向上を図る上で意義は大きい。

また、優れた留学生の獲得は、我が国において喫緊の課題であり、世界的な人材獲得競争が激化している中、これに遅れをとれば、我が国は世界から取り残される。

このような背景において、福田総理が第169回国会における施政方針演説において提唱され、また骨太方針2008にも経済財政成長戦略として掲げられている「留学生30万人計画」を確実に実現し、世界から高度人材の受入れを拡大するためには、優れた教育・研究によって優秀な留学生を引きつけることに加えて、留学生にとって魅力ある大学環境を整備することが不可欠である。政府においては、シーリングの別枠として重点施策推進枠を設定するなど、必要な財政的措置を行い、その実現に向け大きく踏み出すことを強く求め、下記について緊急アピールを行うものである。

記

1. 政府は、留学生が不安なく勉学に励むことができるよう、低廉かつ安心できる宿舎を確保すること。
2. 政府は、留学生の奨学金についてその充実を図ること。
3. 政府は、生活支援や就職支援など留学の入口から出口までの全段階にわたったきめ細かなサポートが可能となる体制の整備を図ること。